

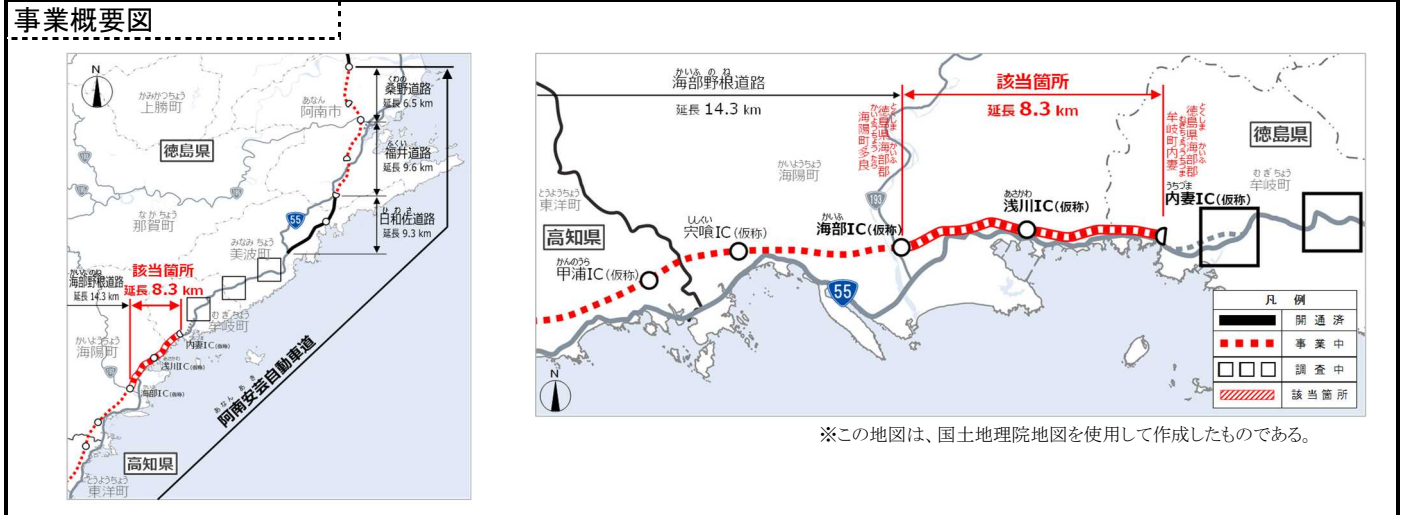
新規事業採択時評価結果(令和8年度新規事業化箇所)

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：西川 昌宏

事業の概要

事業名	一般国道55号 牟岐海部道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：徳島県海部郡牟岐町内妻 至：徳島県海部郡海陽町多良			延長	8.3 km
事業概要 牟岐海部道路は、阿南安芸自動車道の一部を構成する道路で、徳島県海部郡牟岐町内妻から徳島県海部郡海陽町多良に至る延長8.3kmの自動車専用道路である(阿南安芸自動車道は徳島県阿南市から高知県安芸市に至る延長約110kmの高規格道路である)。					
事業の目的、必要性 当該区間の整備により、四国8の字ネットワークを形成し、南海トラフ地震等の災害に備えた命の道となる信頼性の高いネットワークを形成するとともに、都市部や空港までの移動時間の短縮により、徳島県南部地域における産業・観光振興を支援し、高次救急医療機関へのアクセス向上により、緊急搬送など医療活動を支援するものである。					
全体事業費			約 705 億円	計画交通量	
				約 5,400 台/日	



関係する地方公共団体等の意見

【徳島県知事】

一般国道55号(阿南安芸自動車道)「牟岐海部道路」を予算化することについて同意しますとともに、心から感謝申し上げます。

阿南安芸自動車道は、「四国8の字ネットワーク」を形成し、人口減少下にあるからこそ求められる生産性向上を図り、徳島南部や高知東部はもとより、四国全域や関西圏の観光、農林水産、運輸といった様々な産業を支える「活力の道」になるとともに、災害を迎え撃つ「命の道」にもなることから、「魅力度」や「安心度」の向上、ひいては「地方創生」に資する大変重要な社会基盤であります。

特に県南地域は、切迫する南海トラフ巨大地震で甚大な被害が想定されており、県や地元の牟岐町、海陽町においては、病院や学校、役場、消防本部の高台移転、防災公園の整備など、防災機能強化に向け、全力を挙げて取り組んでおります。

これらを有効に機能させ、ストック効果を高めるには、強靱で津波を回避できる「牟岐海部道路」を一刻も早く整備することが何よりも必要となります。

以上の観点から、是非とも、令和8年度の新規事業として予算化していただきますとともに、早期整備が図られますよう、特段の御配慮をお願いいたします。

県といたしましては、事業の円滑な推進に向けて、既に完了している地籍調査の成果を最大限に活用し、早期に用地取得できるよう、専門職員を的確に配置して体制を整えるとともに、埋蔵文化財調査の迅速な進行、残土処理場や工事用道路の確保といった現地の環境整備についても、周辺自治体や関係機関と一丸となって、最大限の協力・支援を行って参ります。

学識経験者等の第三者委員会の意見

新規事業化については妥当である。

対応方針(採択理由)

費用便益比が一体評価で1.1と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続き、都市計画決定手続きが完了するなど、事業実施環境が整っており、事業採択の前提条件が確認できる。

また、当該区間の整備により、南海トラフ地震等の災害に備えた信頼性の高いネットワークを形成することができ、都市部や空港までの移動時間短縮により、徳島県南部地域における産業・観光振興を支援するとともに、高次救急医療機関へのアクセス向上により、緊急搬送など医療活動を支援するなど、当該事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

事業評価結果(総合評価)

事業採択の前提条件
<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている
<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施環境が整っている

費用 便益 分析 (参考)	B/C		(参考)	EIRR	総費用	15,111億円	総便益	16,138億円	感度分析	基準年
	[4%]	1.1 (0.4)	1.2	4.3% (-0.2%)	事業費: 14,178億円 維持管理費: 680億円 更新費: 254億円	走行時間短縮便益: 13,911億円 走行経費減少便益: 1,786億円 交通事故減少便益: 440億円	(参考) 時間信頼性向上便益: 1,975億円 CO2排出削減便益: 109億円	交通量変動		
[2%]	1.5 (0.6)	1.7	事業費変動					B/C= 1.04~1.1 (変動ケース:±10%)		
[1%]	1.9 (0.7)	2.1	事業期間変動					B/C= 1.03~1.1 (変動ケース:±20%)		

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cは徳島JCT~高知JCTを対象とした場合の値、()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)

※費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

事業 の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○
事故対策		○	高規格道路への交通の転換により、交通安全性が向上。[国道55号の交通量:約5,100台→約500台]
歩行空間		○	高規格道路への交通の転換により、歩行者、自転車の安全性向上に寄与。[国道55号の交通量:約5,100台→約500台]
社会全体への影響	住民生活	◎	・沿線地域から高次救急医療機関への搬送時間短縮、救急搬送時の走行の安定化により、傷病者・救急隊員の負担軽減が期待される。 【海陽町~徳島赤十字病院の所要時間】 現況 93分 ⇒ 整備後 64分(29分短縮) 【牟岐~海部間の線形不良箇所】 現況 6箇所 ⇒ 整備後 0箇所
	地域経済	◎	・沿線地域から大阪・東京方面への輸送時間の短縮・走行性の向上により円滑な物流網が構築され、地域産業を支援。 【海陽町~鳴門JCTの所要時間】 現況 132分 ⇒ 整備後 72分(60分短縮)
	災害	◎	・牟岐~海部間の幹線道路における津波浸水予測区間を回避し、幹線道路の寸断による孤立を解消。 ・信頼性の高いネットワークの構築により、災害時の重要拠点へのアクセス性向上、盛土区間を活用した避難路の構築等が期待される。 【牟岐~海部を移動する経路における津波浸水区間延長】 現況 約5.2km⇒ 整備後 0km(阿南安芸自動車道(牟岐海部道路)経由)
	環境	○	・環境の改善 (CO2排出削減量16,215t-CO2/年 [CO2排出削減便益:約109億円])
	地域社会	◎	・空港や関西方面から沿線地域へのアクセス強化や、広域周遊ルートの形成により、観光振興を支援。 【徳島阿波おどり空港~海陽町の所要時間】 現況 139分 ⇒ 整備後 79分(60分短縮)

事業実施環境
・計画段階評価手続き完了(平成 27 年 4 月)
・都市計画決定手続き完了(平成 30 年 11 月)
・四国 8 の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟、徳島県南部地区四国横断自動車道建設促進期成同盟会、一般国道 55 号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会、徳島県道路整備促進期成同盟会などから早期事業化の要望を受けている。

事業評価結果(防災機能)

事業の必要性		
<p>四国8の字ネットワークを形成し、南海トラフ地震等の災害に備えた命の道となる信頼性の高いネットワークを形成するとともに、都市部や空港までの移動時間の短縮により、徳島県南部地域における産業・観光振興を支援し、高次救急医療機関へのアクセス向上により、緊急搬送など医療活動を支援するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 事業区間に並行する国道55号は南海トラフ地震発生時の津波浸水により最大約5割が浸水する。 浅川地区は、「陸」・「海」・「空」の輸送拠点および救助活動拠点が集積しており、徳島県南部における大規模災害時の重要拠点であるが、阿南・安芸方面とのアクセス性が低い。 	<p>新広域道路交通計画 (R3.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域道路ネットワークを強化することにより、巨大災害や頻発・激甚化する自然災害に備えたリダンダンシーの確保や国土強靱化を推進する。 <p>徳島県新広域道路交通計画 (R3.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時における多重性・代替性を確保するネットワークについても、高規格幹線道路及び一般国道(指定区間)などの広域道路ネットワークの基幹となる道路を基本とします。災害時における多重性を確保するため、「代替路」を確保します。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 第二次救急医療機関である県立海部病院への緊急搬送は、当該地域唯一の緊急輸送道路である国道55号を利用しているが、急カーブや急勾配箇所が多数あり、患者の負担となっている。 さらに、当該地域から第三次救急医療機関(徳島赤十字病院)への移動は、約93分であり、迅速な治療が受けられない。 	<p>徳島県新広域道路交通計画 (R3.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高規格道路の整備により地域間ネットワークが形成されるとともに、幅員5.5m未満の未改良道路の効果的な整備や、小型モビリティ・ICT技術の活用による旅行速度の改善により、地方中核都市までのアクセス時間が改善されます。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> 海陽町では全国地鶏生産量トップの「阿波尾鶏」が生産・加工されているが、出荷時に利用する国道55号は輸送に時間を要する上、急カーブや急勾配箇所が多数分布しており運転者への負担が大きい。 	<p>第2次海陽町総合計画 (R6.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性の高い経済活動を支える安定的な物流ネットワークは、地域経済根幹の基盤となります。国・県、関係機関と連携し、地域高規格道路並びに一般国道、県道などの主要幹線道路の整備に協力します。 <p>牟岐町総合計画 (R3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 町全体の交通利便性・安全性の向上と発展可能性の拡大に向けて、阿南・安芸地域高規格道路の早期実現や、一般国道55号牟岐バイパスの早期完成、主要地方道牟岐・海南線及び日和佐・牟岐線の整備を関係機関に積極的に要望していくとともに、町道網・橋梁の整備及び維持管理、地域公共交通の確保を図ります。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> 当該事業の実施により、防災機能ランクの評価に変化はないものの、主要都市間のリンクの脆弱度が改善するため、ネットワーク全体の防災機能が強化される。 また、本事業は、代替路の形成に加え、速達性・定時性・走行性・安全性の向上を通じて、医療機関への緊急搬送、産業・観光振興、地域間の円滑な移動に寄与するものであり、有効性の高い事業と評価できる。 									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	徳島県庁	海陽町	58 (10)	0.97 [C]	0.86 [C]	▲897.95 (▲50.82)	0.19 (0.09)	0.13 (0.20)	○ (○)

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> 計画段階評価手続き完了(平成27年4月9日)、都市計画決定手続き完了(平成30年11月16日)

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は徳島JCT～高知JCTを対象とした場合の値、()書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果。